

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 消防団運営・災害対応DX化事業

自治体名

静岡県三島市

消防団名

三島市消防団

1 事業の目的・必要性

全国的な人口の少子高齢化、就業構造の変化等による団員数の減少は、団員1人あたりの負荷を増大させ、地域防災力の低下に繋がることが懸念されることから、より効率的かつ持続的に災害対応ができる運営体制の構築が喫緊の課題である。

こうした課題の解決のため、火災、風水害、大規模災害等における出動指令通知、各種災害情報等をデジタル化して消防団の災害対応力の向上を図るとともに、出動報告、会議資料等をデジタル化して団員の負担軽減と事務の効率化を図っていく。

2 事業内容

災害時に消防団員を円滑に招集する等の機能を有する消防団活動支援アプリケーションを消防団員個人のスマートフォンにインストールすることにより、火災、風水害、大規模災害等における出動指令通知、各種災害情報等をデジタル化して消防団の災害対応力の向上を図るとともに、出動報告、会議資料等をデジタル化して団員の負担軽減と事務の効率化を図り、消防団運営のDX化を推進していく。

3 事業成果

(1)「災害時の消防団員の円滑な招集と出動状況の把握」
アプリを通じて受信した出動指令がマナーモードでも鳴動して火災に気づきやすくなったほか、火災発生場所の管轄分団に対してのみ鳴動して火災を知らせることが可能となり、誤出動が減少。

(2)「災害現場の位置、画像等の災害情報の共有」
アプリがグーグルマップと連動して現場までの経路確認が可能。また、現場の静止画や動画を撮影してアプリで共有することにより、現場位置がマッピングされ、位置情報の確認がスマホ上で可能。

(3)「出動報告書のデジタル化」
アプリの活用で分団員の活動の把握がこれまでより容易になり、出動報告の漏れが減少。

(4)「クラウド管理による団員への迅速な事務連絡、各種資料等の情報共有」
アプリ導入により各種会議資料、事務連絡等を電子化して配布する環境が整ったため、迅速な情報共有が可能。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
操作研修会	回数	1回	1回	
出動報告期限超過回数	回数	3回	1回	
実動訓練	回数	1回	1回	

5 その他参考情報

導入したアプリケーション

○消防団デジタル化アプリケーション「Fire Chief」

【イメージ】

